

第2回泉大津市
市民みんなの「未来の学びの場」を
考えるワークショップ

2021年11月20日(土)

本日の予定

時間	内容
10:00～	開会 ・ワークショップ進行説明
10:00～ 15分程度	事務局からの説明 ・第1回ワークショップの振り返り ・市民アンケートの結果のご紹介 ・グループインタビュー等で得られた意見のご紹介 ・本日のテーマのご説明
10:15～ 90分程度	本日の意見交換 【本日のテーマ】 ○教育施設に対する市民の認知度・関心度を高めるためには？ ○みんなに利用してもらうため、かつ満足度を高めるための工夫は？ ・市民みんなが利用するための機能とは？ ・市民みんなが利用できる・したくなる空間とは？
11:45～ 15分程度	本日の振り返り ・各グループからの発表(1グループ3分程度)
12:00	閉会 ・次回の予定の説明



1. 第1回ワークショップの振り返り

現在の教育施設の利用状況

■ サークルや教室などの団体活動として

- ・ 音楽の練習ができる数少ない環境
- ・ 各種サークル活動や教室等を行う場所としての利用

■ 地域の拠点としての利用

- ・ 自治会の集まりに利用
- ・ 公民館祭り等のイベントを実施
- ・ 子どもたちの一時預かり等を実施

■ 学校教育の場として利用

- ・ 学校の保護者会、説明会を行う会場として利用
- ・ 地域を知るための授業として、地域の施設を見学

■ 自由に利用できるスペースとして利用

- ・ 子どもたちの自習スペースとしての利用
- ・ 利用者が会話を楽しむサロンのような利用

■ 発表等の場としての利用

- ・ 音楽や習い事など日々の活動の成果を発表する場としての利用

■ 市域外の方の利用

- ・ シープラやテクスピアなどは市域外の方も利用しているのでは

開催日: 令和3年10月23日 午前の部・午後の部

参加者: 午前4グループ20名 午後4グループ16名 計36名

既存の施設の良い点、課題

■ 良い点

- ・ 自宅や職場から近い環境に施設がある(距離的な利用のしやすさ)
- ・ 時間割があることで、見つけた誰かがいる環境が用意されている
- ・ 利用料金の安さ(安い、無料)
- ・ 様々なイベントを提供してくれている
- ・ クラブ活動や教室の拠点として利用がしやすい(荷物が置ける等)

■ 利用者が感じる課題

- ・ 施設全体の老朽化(バリアフリー化も難しい等)
- ・ 世代間の交流がなかなか生まれていない

■ 未利用者にとっての課題

- ・ これまで教育施設に触れることが無かった人々が使いやすい環境を整備する必要がある
- ・ 利用イメージがわからない、予約の方法等がわからない
- ・ 何をしているのか分からない
- ・ 決まった人が利用しているイメージがあり、利用へのハードルを感じる

これからの教育施設とは(市民みんなが利用できる、利用しようと思う『学びの場』にするためには)

■ 市民からの認知度を高めるためには

- ・ 教育施設全体の認知度の向上が課題
- ・ 施設をそもそも知らない人にどのように情報を伝えるか
- ・ 施設での利用イメージを伝える必要がある
- ・ 世代に応じた異なる広報のアプローチが必要
- ・ 市民が誇れる、地域の目玉になる施設を整備
- ・ おづぷらざ等が一元的に情報発信できると良い
- ・ 駅前など人目につく場所でイベント情報等がわかると良いのでは

■ 新たな施設を検討する上での視点

- ・ 人が集まる施設とはどのような施設なのかという視点で検討してほしい
- ・ 学校に機能が分散した場合の具体的な利用法や運営方法を示してほしい
- ・ 能力や専門性を有する市民たちが主体となって様々なプログラムを提供できる場があると良いのでは
- ・ 若者等には使い方を制限せず、自由に利用できる場所の方がニーズがあるのではないかと
- ・ 民間企業のノウハウを活用してプログラム等を検討してはどうか

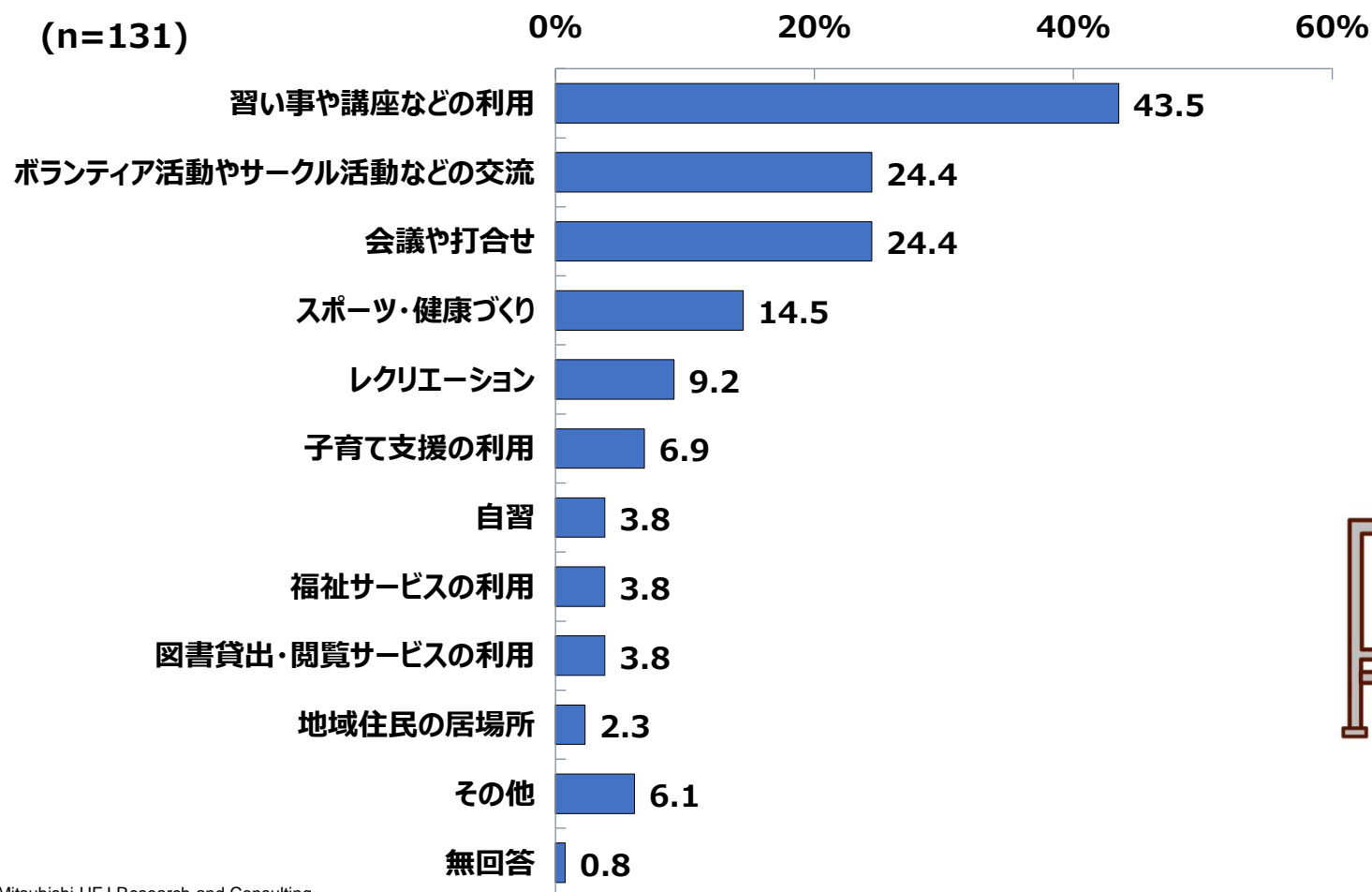
■ 新たな施設に求める設備や機能、運営方法

- ・ 現在施設を利用している人々が継続して利用できる環境を整備
- ・ 様々な立場の人が利用しやすい環境の整備
- ・ 広い駐車場や駐輪場を整備
- ・ 利用時間の制約が少ない施設とする
- ・ 利用状況や予約の状況等が一目でわかるシステムを整備 など
- ・ 地域の方々にも運営の支援をして頂く方が良い
- ・ 防災などの拠点機能を持たせても良い

2. 市民アンケート結果紹介：①南北公民館、勤労青少年ホームの利用目的

(1) 過去3年間に南・北公民館、勤労青少年ホームをどのようなことで利用しましたか。

南・北公民館、勤労青少年ホームの利用目的〔複数回答〕

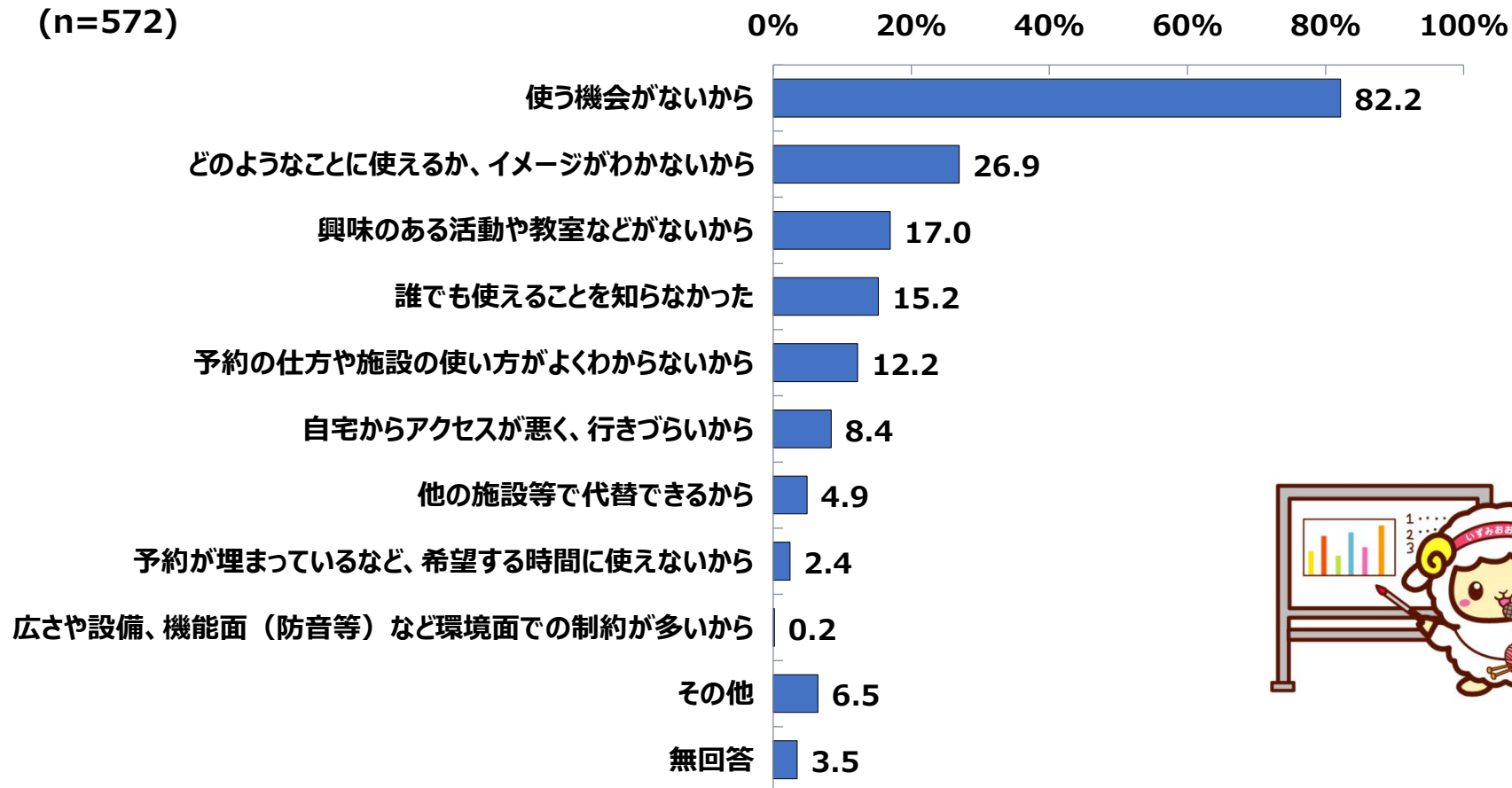


2. 市民アンケート結果紹介：②南北公民館、勤労青少年ホーム利用における障壁

(2) 過去3年間に南・北公民館、勤労青少年ホームを利用していない、もしくは利用できていない理由を教えてください。

南・北公民館、勤労青少年ホーム利用していない理由〔複数回答〕

(n=572)



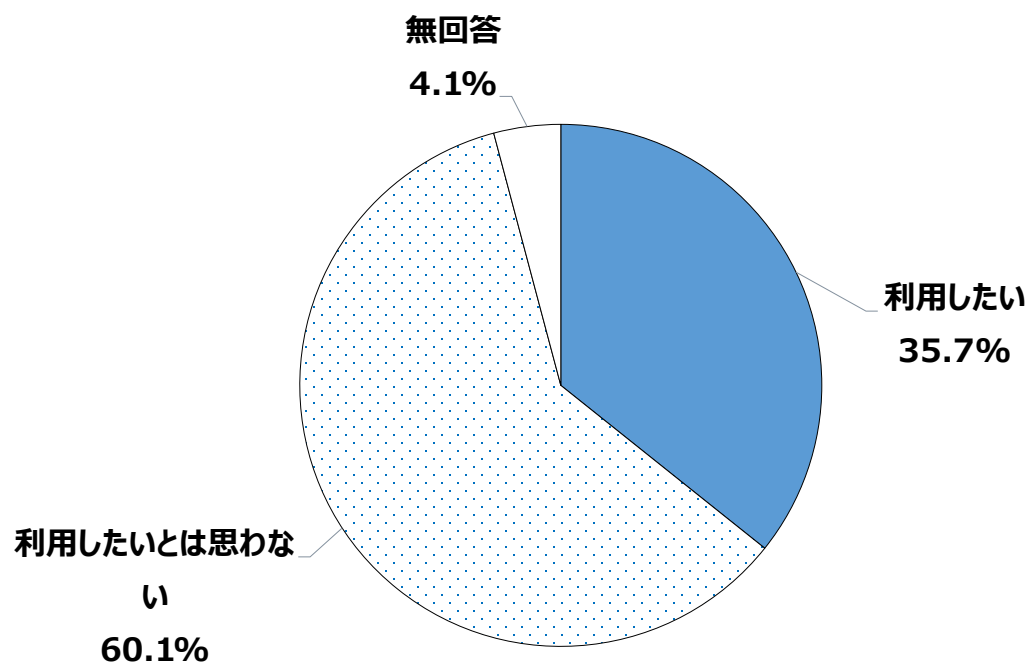
2. 市民アンケート結果紹介: ③生涯学習施設の今後の利用意向

(3)あなたは、南・北公民館などの生涯学習施設を利用したいと思いますか。

- 「利用したいとは思わない」が過半数を占めている。

南・北公民館などの生涯学習施設の利用意向

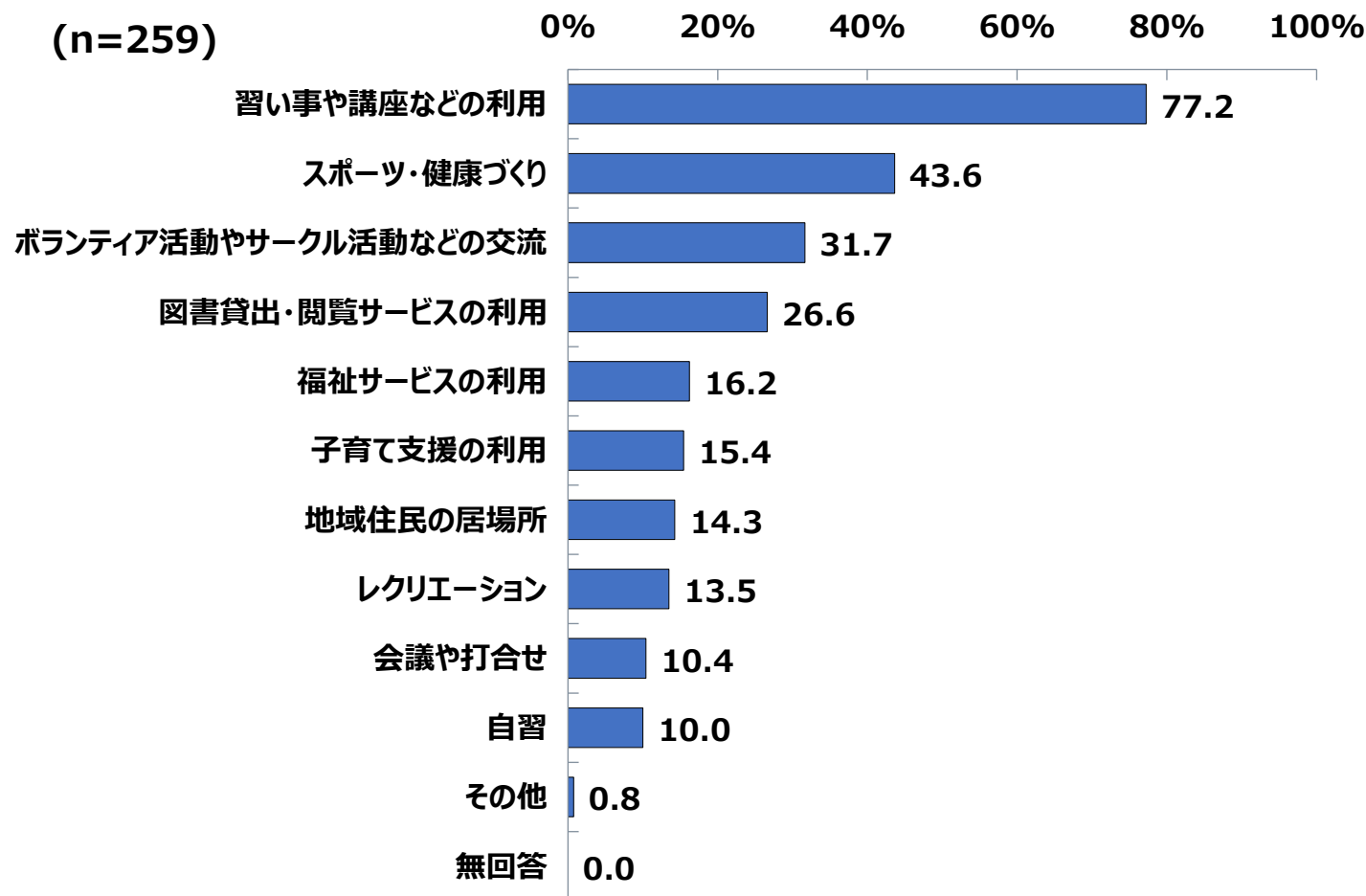
(n=725)



2. 市民アンケート結果紹介：④将来的な生涯学習施設の利用目的

(4)あなたは、南・北公民館などの生涯学習施設をどのようなことで利用したいですか。

南・北公民館などの生涯学習施設の将来的な利用目的〔複数回答〕

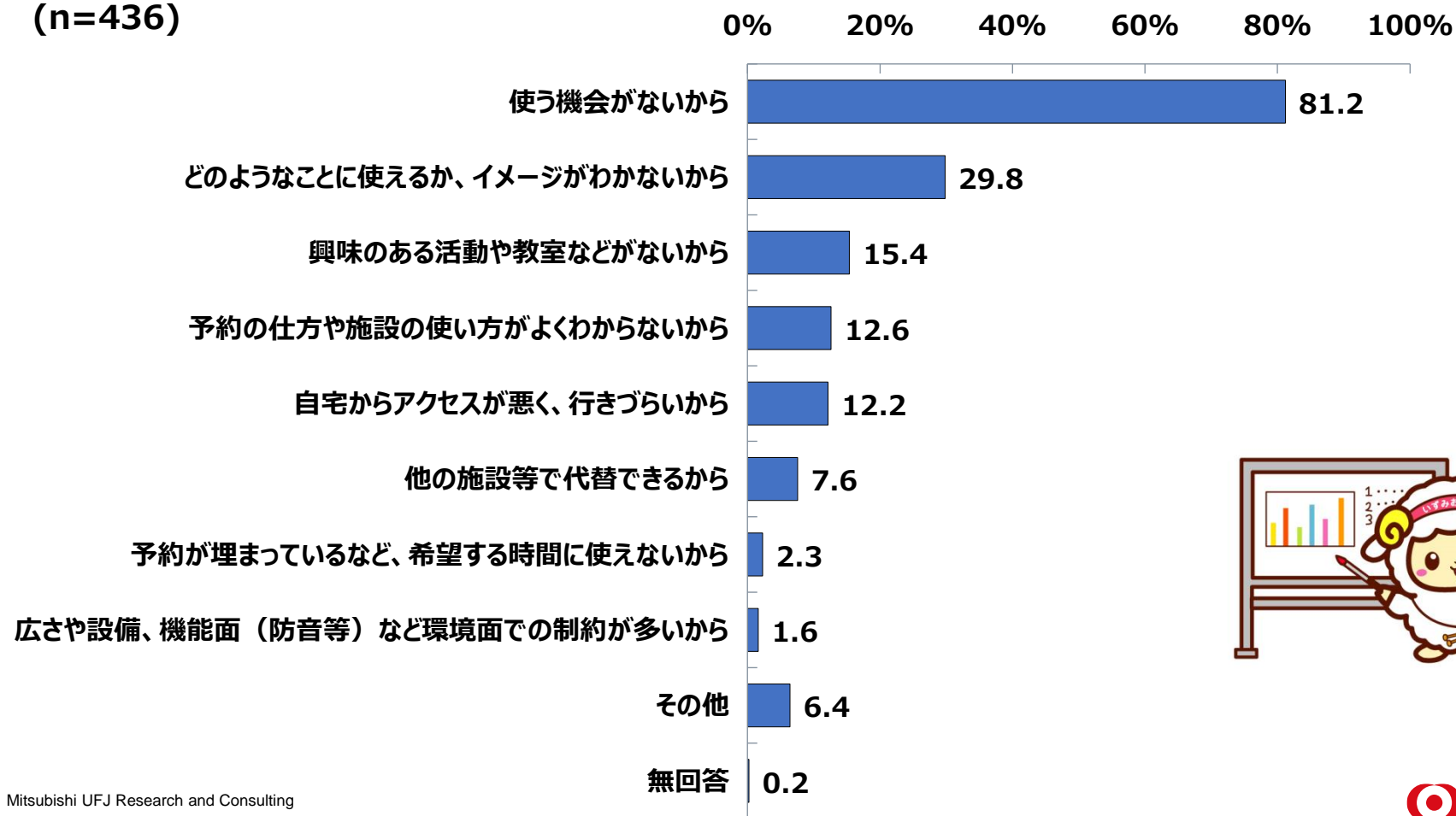


2. 市民アンケート結果紹介：⑤将来的な生涯学習施設の利用にあたっての障壁

(5) 生涯学習施設を利用したいとは思わない理由を教えてください。

南・北公民館などの生涯学習施設を将来的にも利用したいと思わない理由〔複数回答〕

(n=436)

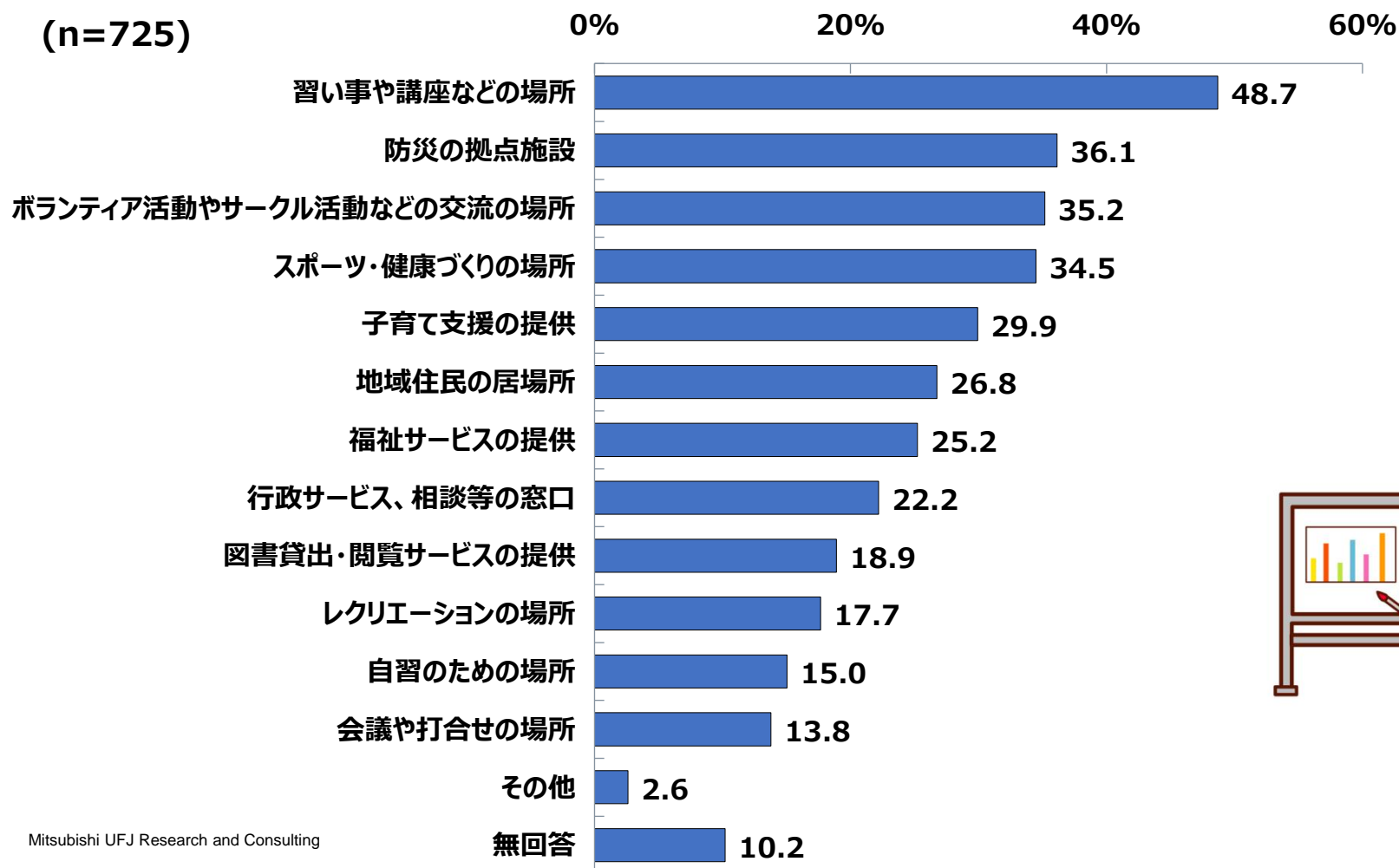


2. 市民アンケート結果紹介：⑥生涯学習施設に必要と思われる機能

(6) 南・北公民館などの生涯学習施設の機能として必要だと思うものは何ですか。

南・北公民館などの生涯学習施設の機能として必要だと思うもの〔複数回答〕

(n=725)



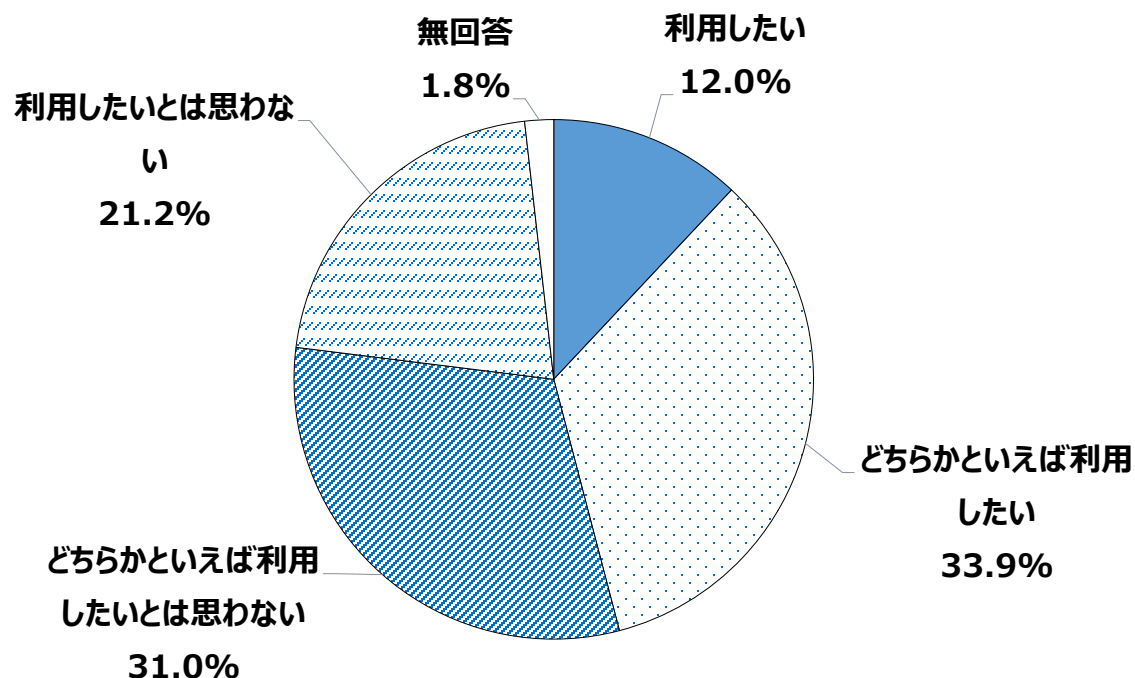
2. 市民アンケート結果紹介: ⑦「地域交流ゾーン」の利用意向

(7) 今後、学校内に「地域交流ゾーン」を整備していく予定です。自宅近くの学校に「地域交流ゾーン」ができれば、利用したいと思いますか。

- 「利用したい」、「どちらかといえば利用したい」が合計で45.9%
- 「どちらかといえば利用したいとは思わない」、「利用したいとは思わない」が合計で52.2%

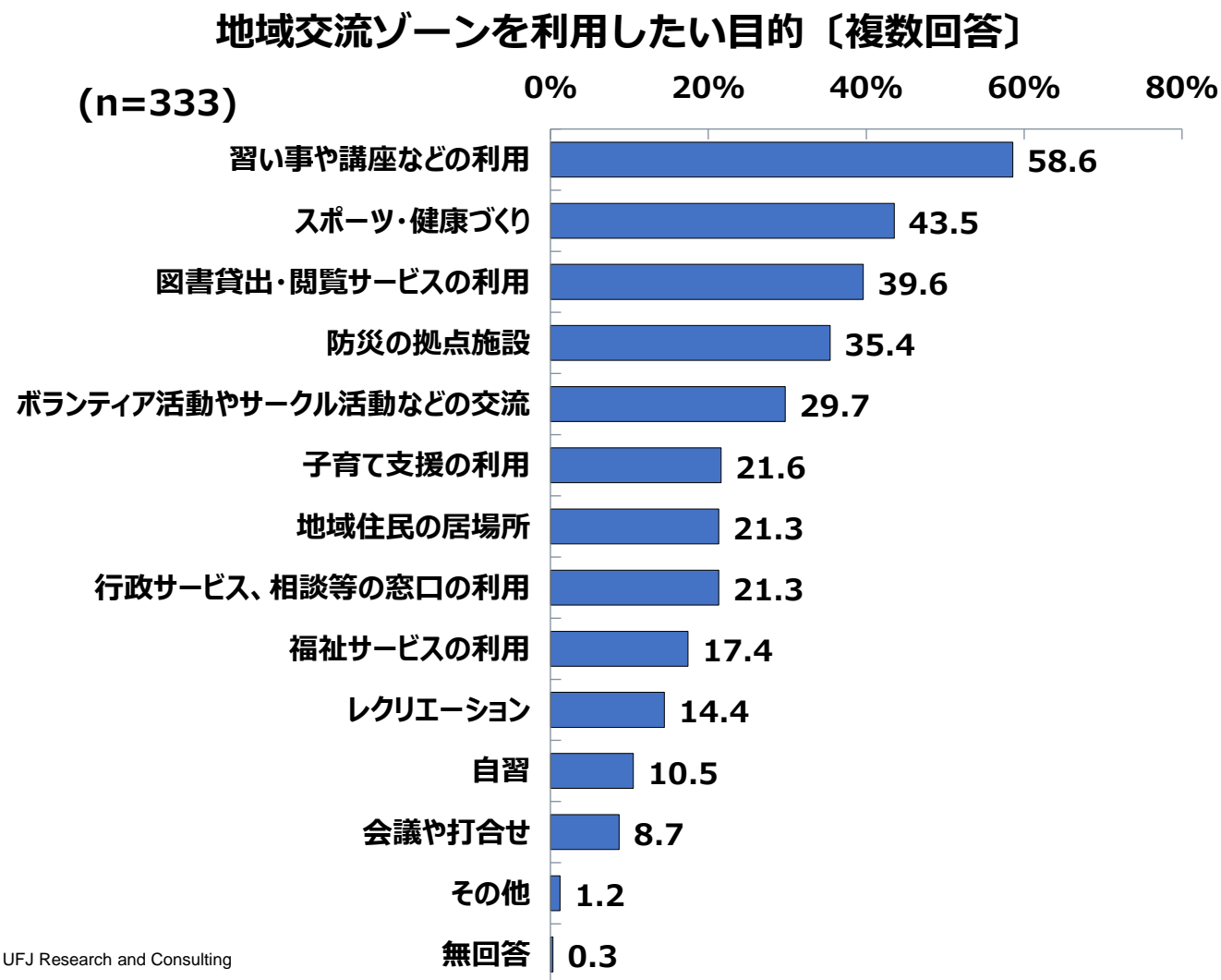
「地域交流ゾーン」の利用意向

(n=725)



2. 市民アンケート結果紹介：⑧「地域交流ゾーン」の利用目的

(8) 地域交流ゾーンを利用したいという方はどのような目的で利用したいですか？

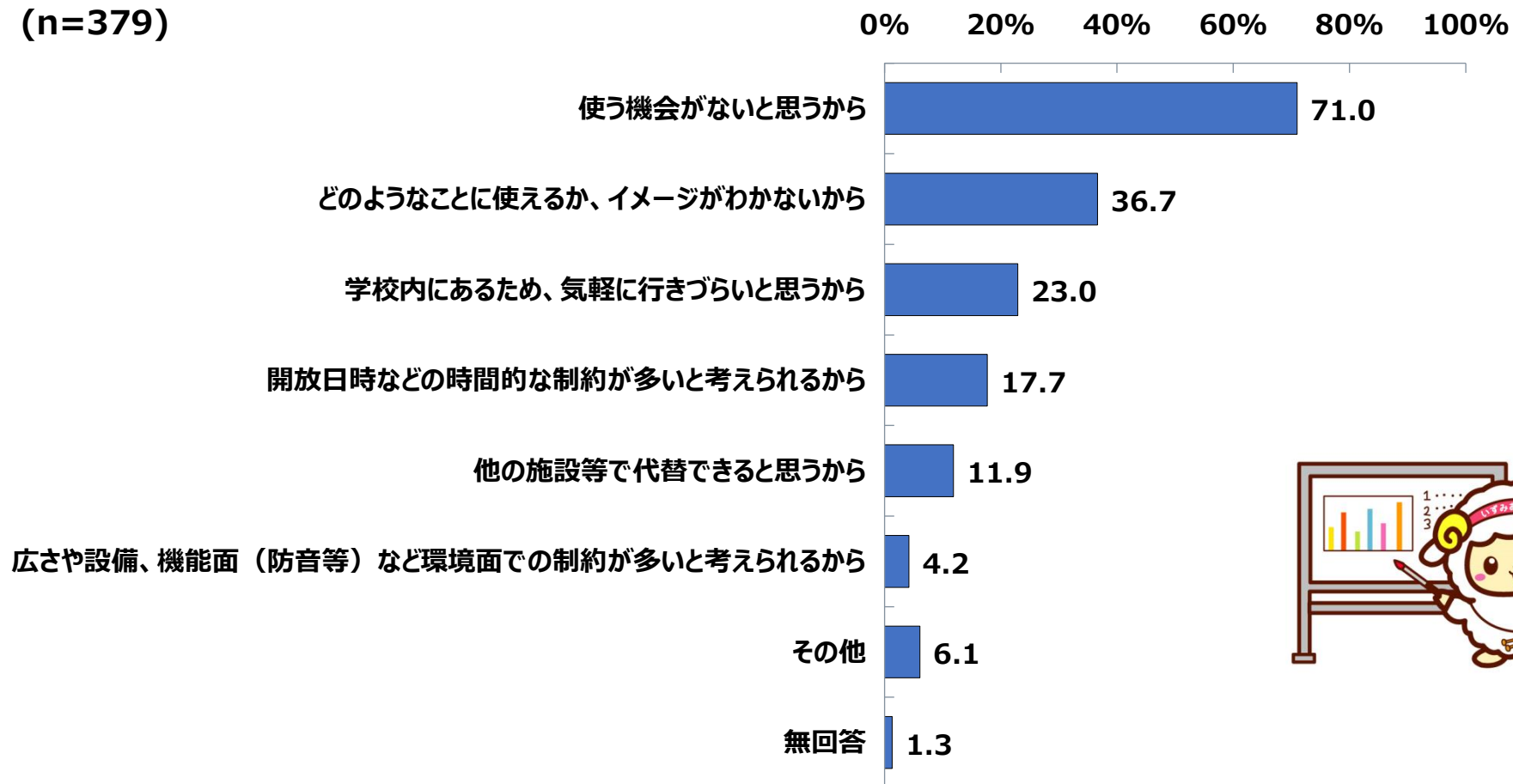


2. 市民アンケート結果紹介：⑨「地域交流ゾーン」の利用にあたっての障壁

(9) 地域交流ゾーンを利用したいと思わない方はそう思う理由を教えてください。

利用したいと思わない理由〔複数回答〕

(n=379)



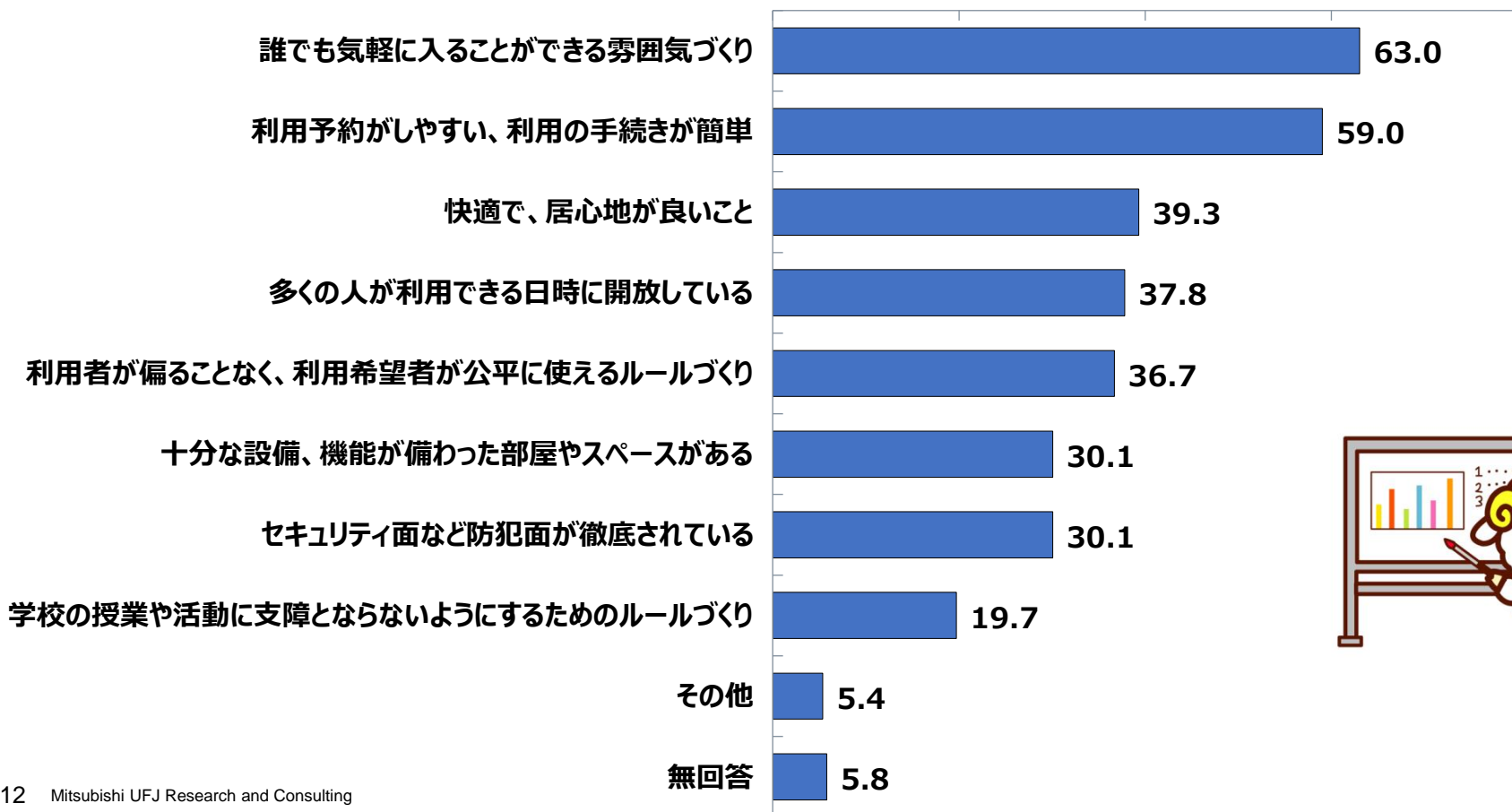
2. 市民アンケート結果紹介：⑩「地域交流ゾーン」の利用促進に必要なこと

(10) 地域交流ゾーンをよりたくさんの人に使ってもらうために必要なことは何だと思えますか？

地域交流ゾーンをよりたくさんの人に使ってもらうために必要なこと〔複数回答〕

(n=725)

0% 20% 40% 60% 80%



3. グループインタビュー等意見紹介① 生涯学習施設利用者

利用者の高齢化で、利用者によるイベント等の運営の負担が大きくなっている。これからの教育施設については、子どもと高齢者の地域交流ゾーン利用時間の重複や道具等の保管場所に関して懸念があがった。

●現状と課題

- ・若い人の利用促進（高齢化で、催しの設備の組立て等が負担）
- ・主体的に催し等に取り組む人が減り、利用者がクラブや催し等の運営を担う仕組みに限界

●これからの教育施設について

■利用時間帯

- ・地域交流ゾーンの、子どもと高齢者の日中利用時間が重なることや、日中仕事をしている人々が夜間にも利用できるかという点等について懸念

■管理・運営

- ・地域交流ゾーンの管理・運営には、時間に余裕のある利用者が参加できると良い

■ハード面

- ・エレベーターの設置、バリアフリー化
- ・夜間活動ができる、防音機能を備えた部屋
- ・活動に使用する道具を保管する倉庫

3. グループインタビュー等意見紹介② 活動支援団体(おづぷらざ指定管理者)

LINEでの予約手続や、団体が活動について相談できる点が利用のしやすさに繋がっている。市全体として、市民・団体が利用できる施設が少ないとの意見があった。

●おづぷらざの利用しやすい点

- ・ 印刷機、プロジェクター等の機材、フリーWi-Fiがある
- ・ LINEで会議スペースの予約や空き状況を確認できる
- ・ 市民活動団体が活動について気軽に相談可能

●各施設の利用しにくい点、課題

おづぷらざ	・ 場所が分かりづらい(テクスピア大阪5階)
公民館	・ 利用者が固定され、誰でも利用できる雰囲気ではない ・ 2か所しかないのでアクセスしづらい ・ 建物が古い
市内施設全体	・ 市民・団体が利用できる市内施設が少ない ・ 市民活動団体が集まり発表する場の確保が困難(広さ、価格、防音の問題)

●これからの教育施設について

- ・ 地域交流ゾーンが小学校区ごとにできていくことは、市民のアクセス面から重要
- ・ イベントをきっかけに、市民や活動団体が地域交流ゾーンを利用しやすくなることも期待できる。一度足を踏み入れると、次回以降は入りやすくなる
- ・ 空いている部屋を「予約なし」でも、気軽に利用できる仕組みがあるとよい
- ・ 利用料の負担は小さい方がよい

3. グループインタビュー等意見紹介③ 若年世代(中学生)

周囲の迷惑にならないで、自習したり、友達と集まったり、スポーツをしたりできる場所があると良いという意見が出た。

●利用経験、課題

- 友達と誘い合って遊びに行ったり、自習をしに行ったりしたことがある
- 自習室が満席で使えないことがあった
- 使いたい部屋があったが、クラブ活動の直後でまだ人がいて、使えなかったことがあった

●あると良い施設等

- **自習専用の部屋** …… 周囲に気を遣わず自習に集中できる空間
- **教材やコピー機のある部屋** …… 塾に行っていない人の自習支援
- **友達と話をしたり、作業をしたりして過ごせる場所** …… 友達と喋りながら作業等ができる
- **屋外で球技ができる施設** …… 周囲を気にせずバスケ、サッカー、テニスなどができる
- **スケボーパーク** …… 道路などではなく、安全にスケートボードができる

3. グループインタビュー等意見紹介④

若年世代(小学生:「あったらいいな、こんな施設」発表会)

子どもも高齢者も、誰もが利用でき、交流を深められるというコンセプトの施設が提案された。友達と遊べる場所、子どもだけで行くことができる場所といった、「居場所」を求める意見もあった。

●あると良い施設等

■運動・遊び

- ・ **色々な活動ができる公園** …… マラソン、釣り、アスレチックができ、皆で交流できる
- ・ **温泉・プール** …… 温泉とプールが合わさり、子どもから高齢者まで遊べる

■学び

- ・ **物作りができる施設** …… 布製品をつくる体験ができる
- ・ **毛布歴史資料館** …… おりあむ 織編館を移転し、多くの人に毛布のことを知ってもらう

■居場所

- ・ **集まって遊べる施設** …… 友達や地域の人が集まってイベントや趣味の活動ができる
- ・ **静かに勉強できる場所** …… 勉強専用のスペースがあり、わからないことは質問できる
- ・ **キッズプラザ** …… 子どもだけで行くことができ、遊んで学べる場所

4. 本日の意見交換のテーマ

テーマ1

「教育施設に対する市民の認知度・関心度を高めるためには？」

テーマ2

「みんなに利用してもらうため、かつ満足度を高めるための工夫は？」

- **市民みんなが利用するための機能とは？(ソフト面)**
- **市民みんなが利用できる・したくなる空間とは？(ハード面)**

